

○「プラン作成へ耕作者図面で協議」

(京都府宮津市 金山地域活動 第2回目)(上宮津地区連絡会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

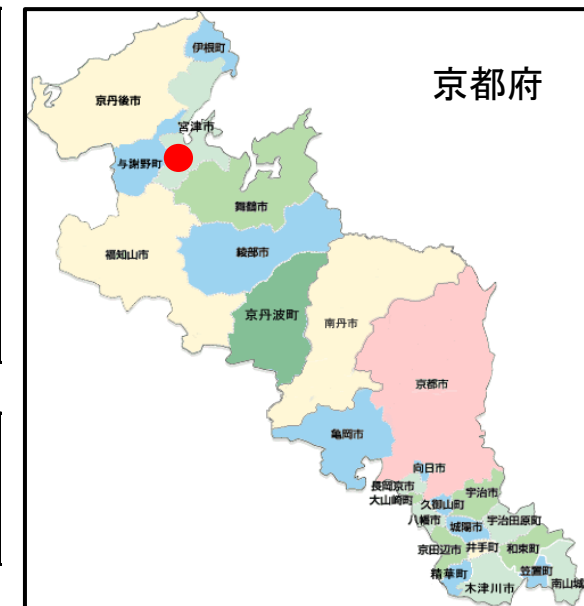
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年12月20日(木) 13:00~16:00
- 場 所: 宮津市金山集会所
- 出席者: 細見推進委員、地元役員6人、市1人、普及センター1人
※委員1人、委員以外8人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 中山間・多面的事業を実施。農地は一定、集積されているが、高齢化で高い畦の草刈りが困難に
- 小作料が高い。地域における土地利用は、原則、皆で決めることになっているが、実態は相対で押しつけ
- 耕作者は今以上に耕作地を増やすことができない。不作付け地がでると保全管理せざるを得ない



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プランの作成を協議 (地域内の耕作者の図面を資料に)
 - ・耕作について、個人と共同化(組合)による対応地域をブロックとして検討
 - ・課題は、畦畔草刈り対応。中山間事業がなくなった場合は地域を守れるのか(31年度~第5期対策)
 - ・今後の検討内容は、地域耕作のブロック化、畦畔草刈り対応、共同組織化、当面10年間の継続
- 次回は、1月下旬(午後)
 - ・上記の検討内容に加えて、地域全体への説明会の実施時期を協議する

※耕作者の図面による話し合いで、前向きに検討でき参加者の意向のまとまりがみられました

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 3 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |